

令和6年度 沖縄県立浦添工業高等学校 推薦入学選抜基準及び選抜方法

1. 推薦入学選抜基準

(1) 内申について（評定の記録は5段階とする）

被推薦者の評定において、中学3ヵ年を通じて全教科において評定1を有していないこと。
かつ、本校の各科の特色に基づき、被推薦者の評定の平均が、次に掲げる要件を満たしているものとする。

原則として

- (ア) 情報技術科・建築科・インテリア科・調理科においては、全教科の評定平均が3.0以上とする。
- (イ) デザイン科においては、各学年の美術の評定が3以上で、かつ、全教科の評定平均が3.0以上とする。

2. 推薦入学選抜方法

本校校長は、中学校長から提出された推薦入学志願書（推薦第1号様式）、調査書（第2号様式）、推薦申請書（推薦第2号様式）、面接及び実技等の結果に基づいて被推薦者を評価し、推薦入学予定者を決定する。

(1) 出願要件に対する表現の評価

(ア) 自己表現

面接時間5分程度

評価の方法は、被推薦者の実績を証明する資料に基づき、下記の「自己表現評価表」に従う。
なお、評価する実績は、1つの実績のみであり、評価の累積は行わない。

<自己表現評価表>

活動分野		ランク				
		A	B	C	D	E
a. 文化活動	音楽 美術 書道 文芸 意見発表等	県最高レベル 県代表 全国優秀、銀賞等以上 (全国最高レベル相当も含む)	県優秀、銀賞等 全国優良、銅賞等 ※ランクAに次ぐ 実績全般	県優良、銅賞等 全国佳作、入選等 ※ランクBに次ぐ 実績全般	県佳作、入選等 地区大会入賞全般 ※ランクCに次ぐ 実績全般	AからDのランクに該当しない実績
	民謡 舞踊	県最高レベル	県内入賞全般	県内新人賞	地区大会入賞全般	
b. スポーツ活動	県代表、選抜選手 県大会ベスト4以上 県最優秀選手 全国大会出場	県大会ベスト8 県優良以上の選手 県選抜候補 ※ランクAに次ぐ 実績全般	県大会出場 地区代表 地区大会4位以上 ※ランクBに次ぐ 実績全般	地区大会出場 学校代表選手 ※ランクCに次ぐ 実績全般		
c. 社会活動 d. ボランティア活動	県最高賞レベル 全国入賞レベル以上	県入賞レベル 生徒会長	市町村最高賞レベル 生徒副会長	市町村入賞レベル 生徒会役員 HR長		
e. 資格取得の活動	英検2級以上 漢検2級以上 数検2級以上	英検準2級 漢検準2級 数検準2級	英検3級 漢検3級 数検3級	英検4級 漢検4級 数検4級		

※ 上記の評価表において、詳細に分けられない実績等については、本校にて審議し、自己表現による全被推薦者を公平・公正に評価する。

<注意>

生徒会活動に関する活動分野の判断は、高等学校単位で異なるため、出願の際は、十分注意して下さい。本校では、次の①から③の通りに生徒会活動とボランティアを判断します。それに従って、

活動分野を選択し、出願して下さい。

- ① 生徒会活動全般の実績は、「社会活動」の活動分野とする。
- ② 上記①に関連して、生徒会活動（学級、学年、委員会、部活動等）によるボランティアの実績は、本校において、生徒会活動の一環として判断する。その場合の実績も「社会活動」の活動分野とする。
- ③ 本校では、ボランティアを生徒会以外の学校外団体（自治会、ボーイスカウト等）又は個人による活動とし、その場合の実績は、「ボランティア活動」の活動分野とする。

(イ) 個性表現

面接時間：質問と表現の審査を含み15分以内

*表現に必要な物品（CDプレーヤー、楽器等）は、各自準備持参。

作品等を持参する場合は、プレゼンテーションと質問の実施。

評価の方法は、各分野に適正な本校の職員が表現を審査し、下記の「個性表現評価表」に従う。なお、評価の標準は「D」とし、評価の累積は行わない。

<個性表現評価表>

分野	A	B	C	D	E
a. 音楽、美術及び書道等の芸術の分野 b. 文芸及び研究等の分野	自己表現評価表の「a. 文化活動」の評価に準ずる				ランクAからDに該当しない実績
c. 舞踊、創作ダンス及び手話等の身体的活動を伴う分野	自己表現評価表の「a～d」の評価に準ずる				
d. 留学等の体験的活動を伴う分野	自己表現評価表の「a～e」の評価に準ずる				

(2) 調査書に関する評価

被推薦者の調査書の次の(ア)から(ウ)の事項を評価する。

- (ア) 各教科の学習の記録
- (イ) 行動の記録
- (ウ) 出欠の記録

(3) 面接に関する評価

被推薦者全員に面接を実施する。面接の評価はA、B、Cで評価し、標準は「B」とする。